

**業績集 ： 滋賀医科大学 内科学講座 呼吸循環
器内科 第三代 堀江教授業績（ 3 ）循環器内科
和文雑誌2003～2014**

著者	滋賀医科大学 内科学講座 呼吸循環器内科
発行年	2014-08-04
URL	http://hdl.handle.net/10422/7177

業 績 集

滋賀医科大学

内科学講座 呼吸循環器内科

第三代 堀江教授業績(3) 循環器内科 和文雑誌 2003～2014

和文雑誌

【2014】

- 堀江 稔：薬物誘発性不整脈. 心臓. 46(3): 318-21, 2014.

【2013】

- 山本 孝：大津市医師会心筋梗塞パス運用状況報告. 大津市医師会誌. 30(1): 20-23, 2013.
- 堀江 稔：QT 延長症候群. 救急医学. 37(2): 218-223, 2013.
- 環 慎二, 中村保幸, 金盛俊之, 平田邦夫, 松井甚弥, 川嶋剛史, 堀江 稔：配合剤使用の有用性と患者アンケート調査からの検討. 滋賀医学. 35: 48-55, 2013.
- 飛田 良, 林 秀樹, 柴田沙智子, 宗村純平, 小澤友哉, 前川昭次, 堀江 稔：致死性不整脈に対し心肺蘇生後に包括的心臓リハビリテーションを施行し復学に成功したカテコラミン誘発多形性心室頻拍症例. 心臓. 45(10): 1279-1285, 2013.
- 林 秀樹, 内貴乃生, 吉野知秀, 川口民郎, 谷口 晋, 宮本 証, 小澤友哉, 杉本喜久, 伊藤 誠, 中島誠子, 貝谷和昭, 中川義久, 土井孝浩, 静田 聡, 木村 剛, 堀江 稔：植え込み型除細動器の不適切作動に対するアミオダロンの有用性. Progress in Medicine 33 (suppl. 1): 718-722, 2013.
- 堀江 稔：不整脈源性右室心筋症. 循環器内科. 73(4): 437-442, 2013.
- 芦原貴司：コンピュータシミュレーションと遺伝性不整脈. 医学のあゆみ. 245(9): 710-718, 2013.
- 堀江 稔：膿疱性線維症. 医学のあゆみ. 245(9): 727-231, 2013.
- 大野聖子：イオンチャネル病としての突発性心室細動. 医学のあゆみ. 245(9): 796-801, 2013.
- 木村紘美：アンダーセン症候群. 医学のあゆみ. 245(9): 815-820, 2013.
- 澤山裕一, 伊藤英樹, 服部哲久, 小澤友哉, 山本 孝, 杉本喜久, 芦原貴司, 伊藤 誠, 堀江 稔：細動閾値が著明に改善した Brugada 症候群の一例. 心臓. 45(12): 1572-76, 2013.
- 泉 知論, 下野 勲, 高田信一, 福水洋平, 山内寛紀, 酒井 宏, 堀江 稔, 来見良誠, 谷 徹：日常生活下での生体音による診断補助システムの試作と評価. 信号処理学会論文誌. (in press)
- 福山 恵：Circulation Journal 2013.No.7 の注目論文/L 型 Ca チャネル変異:日本人遺伝性不整脈への関与を確認. Medical Tribune 循環器疾患版. 46(30): ct-4, 2013.
- 堀江 稔：家族性心房細動. 臨床と研究. 90(9): 56-60, 2013.
- 池田智之, 牧山 武, 中尾哲史, 梶本 晃, 宮澤 豪, 下司 徹, 中野 顕, 大橋直弘, 綿貫正人, 日村好宏, 堀江 稔：両室ペーシングが奏功した lamin A/C 遺伝

子関連心筋症患者の長期経過を観察し得た 1 例. *心臓*. 45(10): 1260-1265, 2013.

- 堀江 稔: 磯貝論文に対する Editorial Comment. *心臓*. 45(9): 1129, 2013.
- 酒井 宏: 肺高血圧症の診断と治療. *大津市医師会誌*. 36(5): 18-20, 2013.

【2012】

- 堀江 稔: iPS 細胞を用いた Timothy 症候群の解明. *呼吸と循環*. 60(5): 483-488, 2012.
- 堀江 稔: 薬剤誘発性 QT 延長症候群と遺伝的背景 (薬剤感受性). *臨床評価*. 40(1): 119-122, 2012.
- Tsutamoto T, Wada N, Yamakawa T, Ibe K, Sakai H, Kawahara C, Horie M: Chronic heart failure: progress in diagnosis and treatment. Topics: II. Progress in diagnosis: 2. Biomarker. *Nihon Naika Gakkai Zasshi*. 101(2): 345-353, 2012.
- 薦本尚慶, 河原千穂, 西山敬造, 酒井 宏, 堀江 稔: 脳性ナトリウム利尿ペプチド(brain natriuretic peptide; BNP). *Heart View*. 16(12): 221-225, 2012.
- 環 慎二, 金盛俊之, 松井甚弥, 平田邦夫, 川嶋剛史, 堀江 稔: 当院における随時尿から求めた一日推定塩分摂取量の有用性の検討. *滋賀医科大学誌*. 25(1): 9-17, 2012.
- 芦原貴司: 研究の窓辺 (インタビュー). *血圧*. 19(12): 110-111, 2012.
- 芦原貴司: 心房細動の診断と治療. *大津市医師会誌*. 35: 89-93, 2012.
- 芦原貴司: 平成 23 年度各賞受賞者紹介: 荻野賞. *生体医工学*. 50, 2012. (In press)
- 芦原貴司: 連載「モデル解析の視点」: 第 2 回, 電氣的除細動において心室壁の内部は分極するのかもしれないのか? *心電図*. 32: 249-252, 2012.
- 芦原貴司: 連載「モデル解析の視点」: 第 3 回, 心室壁内部の分極を可視化して電氣的除細動のメカニズムに迫る. *心電図*. 32, 2012. (In press)
- 芦原貴司: 連載「モデル解析の視点」: 第 1 回, 電氣的除細動では心臓全体が脱分極してリセットされるのか? *心電図*. 32: 161-164, 2012.
- 八尾武憲, 水澤有香, 中澤優子, 宮本 証, 伊藤英樹, 芦原貴司, 杉本喜久, 伊藤誠, 堀江 稔: J 波を伴う特発性心室細動におけるデバイス治療の工夫と有効性: 心室細動のトリガーとなる心室期外収縮の抑制について. *心電図*. 32(Suppl.1):51-57, 2012.
- 平岩康之, 林 秀樹, 渋谷武志, 木下妙子, 岩本朋美, 前川昭次, 阪上芳男, 今井晋二, 中江一郎, 松本鉄也, 松林景二, 浅井 徹, 堀江 稔: 心大血管術後の愁訴が有酸素運動の開始に与える影響. *心臓リハビリテーション*. 17(1): 93-97, 2012.

【2011】

- Horie M: 108th Scientific Meeting of the Japanese Society of Internal Medicine: Educational lecture: 3. Diagnosis and treatment of Japanese patients with Brugada syndrome. *Nihon Naika Gakkai Zasshi*. 100(9): 2599-2604, 2011.
- 堀江 稔: 循環器疾患における遺伝的背景と発症機序理解のための多面的アプローチ. *循環器内科*. 70: 421-422, 2011.
- Tamaki S, Nakamura Y, Kawashima T, Matsui J, Kanamori T, Horie M: 耐糖能異常を有する高血圧患者において微量アルブミン尿は早朝高血圧に関連する. *薬理と治療*. 39(2): 209-215, 2011.
- Yamamoto T, Horie M: Angina pectoris: classification and differential diagnosis. *Nihon Rinsho*. 69(Suppl.9): 9-13, 2011.
- 芦原貴司: コンピュータシミュレーションの不整脈研究への応用. *医学のあゆみ*. Suppl.: 30-37, 2011 (再刊).
- 芦原貴司: システムバイオロジーと遺伝性不整脈. *循環器内科*. 70: 483-492, 2011.
- 芦原貴司: バイドメインモデルによる電氣的除細動メカニズムの研究. *医学のあゆみ*. 238: 229-236, 2011.
- 伊藤英樹, Pascale Guicheney: フランスにおける循環器領域の分子遺伝学. *循環器内科*. 70: 508-510, 2011.
- 伊藤英樹, 堀江 稔, 井本敬二: 遺伝性不整脈疾患とシミュレーション. *不整脈 PLUS*. 3: 9, 2011.
- 大野聖子: Copy number variation (CNV) と循環器疾患. *循環器内科*. 70: 517-522, 2011.
- 脇坂啓子, 堀江 稔: スプライシング異常と循環器疾患. *循環器内科*. 70: 523-529, 2011.
- 佐野 幹, 渡邊栄一, 牧山 武, 内山達司, 祖父江嘉洋, 奥田健太郎, 山本真由美, 堀江 稔, 尾崎行男: ペースメーカ植込み同胞例認められた新たな Lamin A/C 変異. *心電図*. 31(1): 18-24, 2011.
- 佐野 幹, 渡邊英一, 牧山 武, 内山達司, 祖父江嘉洋, 奥田健太郎, 山本真由美, 堀江 稔, 尾崎行男: ペースメーカ植込み同胞例に認められたあらたな Lamin A/C 変異. *心電図*. 31: 18-24, 2011.
- 定 翼, 国分則人, 堀江 稔, 阿部百佳, 駒ヶ嶺朋子, 平田幸一: KCNJ2 変異を伴う Andersen-Tawil 症候群の神経生理所見. *臨床神経生理学*. 39(1): 18-23, 2011.

【2010】

- 堀江 稔: QT 短縮症候群. *医学のあゆみ*. 234(6): 719-722, 2010.
- 堀江 稔: デスモゾーム病としての不整脈源性右室心筋症: デスモゾーム分子遺伝

子異常. *医学のあゆみ*. 232: 588-592, 2010.

- 堀江 稔: 遺伝性不整脈の診断と治療. *臨床医のための循環器診療*. 13: 29-32, 2010.
- 堀江 稔: 遺伝性不整脈の診断と治療における iPS 細胞利用の可能性. *最新医学*. 65: 139-145, 2010.
- 堀江 稔: 運動中の心臓性突然死: 成人の不整脈. *心電図*. 30(Suppl.2): 13-24, 2010.
- 堀江 稔: 高血圧と不整脈: 高血圧治療によって不整脈発生の予防は可能か? *Life Style Medicine*. 4: 28-32, 2010.
- 堀江 稔: 座談会: 冠動脈疾患の治療を考える: JSH ガイドライン改正を受けて. *血圧*. 17: 35-40, 2010.
- 堀江 稔: 働き盛りの心臓突然死, QT 延長症候群, 抗うつ薬との関係: 薬物性 torsade de pointes. *大津市医師会誌*. 34: 20-25, 2010.
- 堀江 稔: 日本人の心房細動における治療戦略の最新状況. *Trans BEAT*. 7: 12-14, 2010.
- 芦原貴司, 堀江 稔: 学会レポート: 第 27 回日本心電学会学術集会. *心電図*. 30(5): 432-439, 2010.
- 芦原貴司: Editorial Comment: イベントレコーダーの費用対効果とその解釈. *心電図*. 30(3): 225-226, 2010.
- 芦原貴司: 不整脈研究の最先端: コンピュータシミュレーションの不整脈研究への応用. *医学のあゆみ*. 234(6): 644-651, 2010.
- 伊藤英樹, 清水 渉, 林 研至, 山形研一郎, 坂口知子, 大野聖子, 牧山 武, 赤尾昌治, 藍 智彦, 野田 崇, 宮崎 文, 宮本恵宏, 山岸正和, 鎌倉史郎, 堀江 稔: 先天性 QT 延長症候群の遺伝子診断: 複数異変症例の検討. *心電図*. 30(2): 195-199, 2010.
- 伊藤英樹, 堀江 稔: QT が長ければ QT 延長症候群か? *medicina*. 47(1): 66-68, 2010.
- 伊藤英樹, 堀江 稔: 遺伝子異常と不整脈. *臨床と研究*. 87(1): 98-101, 2010.
- 中澤優子, 芦原貴司, 八尾武憲, 城日加里, 伊藤英樹, 杉本喜久, 伊藤 誠, 堀江 稔: 肺静脈隔離術後の心房細動再発検出における携帯型心電計の有用性. *心電図*. 30(Suppl.1): 71, 2010.
- 久松隆史, 大久保孝義, 堀江 稔, 三浦克之: 日本人の脳卒中, 心筋梗塞, 腎臓病に対するリスク因子の寄与度の違い: わが国の疫学研究から. *Mebio*. 27(10): 30-44, 2010.
- 川村美朋子, 長岡伊織, 道智賢市, 西尾由貴子, 伊藤英樹, 木村紘美, 宮本 証, 水澤有香, 地藤優子, 石田勝也, 伊藤 誠, 牧山 武, 大野聖子, 住友直方, 小山耕太郎, 堀江 稔: カテコラミン誘発性多形性心室頻拍を疑う患者における遺伝子変異の検討: 心筋リアノジン受容体について. *心電図*. 30: 298-305, 2010.

- 宇隨弘泰, 平井忠和, 蔦本尚慶, 李 鍾大, 池本正生, 堀江 稔, 藤田正俊: 高血圧治療薬としてのアンジオテンシン II 受容体拮抗薬とカルシウム拮抗薬の血管炎症および酸化ストレスに及ぼす影響. *Progress in Medicine*. 30(2): 169(469)-172(472), 2010.
- 蒔田直昌, 住友直方, 関 明子, 渡部 裕, 福原茂朋, 牧山 武, 堀江 稔, 萩原誠久, 望月直樹, Jean-Jacques Schott: 家族性心臓伝導障害に同定された connexin 40 遺伝子 GJA5 変異の機能異常. *心電図*. 30: 267, 2010.
- 中沢一雄, 原口 亮, 芦原貴司, 難波経豊, 戸田 直, 山口 豪, 井尻 敬, 高山健志, 五十嵐健夫, 倉智嘉久, 池田隆徳: 心臓モデリングとコンピュータシミュレーションが導く不整脈研究の世界. *心臓*. 42(Suppl.4): 208-215, 2010.
- 牧山 武, 静田 聡, 赤尾昌治, 木村 剛, 堀江 稔: 家族性ペースメーカー植込み症例における遺伝的背景の検討: 心臓 Na⁺チャネル病, LaminA/C 遺伝子関連心筋症. *心電図*. 30(2): 200-208, 2010.

【2009】

- 堀江 稔: Andersen 症候群. *カレントセラピー*. 27: 458-459, 2009.
- 堀江 稔: Jervell lange Nielsen. *小児科診療*. 72: 215, 2009.
- 堀江 稔: QT 延長症候群. *小児科*. 50(7): 1083-1087, 2009.
- 堀江 稔: Romano-Ward 症候群. *小児科診療*. 72: 221, 2009.
- 堀江 稔: TOP: 不整脈研究の流れ. *BIO Clinica*. 24: 405, 2009.
- 堀江 稔: アップストリーム治療. *診断と治療*. 97: 1022-1027, 2009.
- 堀江 稔: 遺伝性不整脈. *Heart View*. 13(9): 47-51, 2009.
- 堀江 稔: 致死性不整脈に関する遺伝子研究の現状. *不整脈 News&Views*. 8-10, 2009.
- 堀江 稔: 不整脈研究の流れ. *BIO Clinica*. 310: 405, 2009.
- 堀江 稔: 薬剤性 QT 延長症候群. *ICU と CCU*. 33: 19-24, 2009.
- 堀江 稔: 薬剤性 QT 延長症候群. *循環器科*. 65(6): 546-550, 2009.
- 蔦本尚慶: ACE 阻害薬, ARB と心不全バイオマーカーの関連. *Heart View*. 13: 659-666, 2009.
- 中江一郎, 松本鉄也, 堀江 稔: 動脈硬化指標としての Augmentation Index と Pulse Wave Velocity の意義: 左室機能との関連. *Therapeutic Res*. 30: 1938-1941, 2009.
- 林 秀樹: 心室細動に関与する細胞内カルシウム動態. *心電図*. 29(3): 219-225, 2009.
- 城日加里, 芦原貴司, 八尾武憲, 伊藤英樹, 中澤優子, 北川直孝, 杉本喜久, 蔦本尚慶, 伊藤 誠, 堀江 稔: 当院における致死的不整脈と心房細動に対するアミオダロンの使用状況: 低用量アミオダロンの有用性について. *Progress in Medicine*. 29(Suppl.1): 703-707, 2009.

- 城日加里, 芦原貴司, 八尾武憲, 伊藤英樹, 中澤優子, 北川直孝, 杉本喜久, 薦本尚慶, 伊藤 誠, 堀江 稔: 当院における致死的不整脈と心房細動に対するアミオダロンの使用状況: 低用量アミオダロンの有用性について. **第 13 回アミオダロン研究会講演集**. 115-119, 2009.
- 芦原貴司: 心筋症に伴う不整脈薬物療法: アミオダロン療法を中心に. **循環器科** 65(3): 309-318, 2009.
- 芦原貴司: 致死的不整脈の in silico 研究: 心臓電気生理の理解を深めるために. **臨床と研究**. 86(6): 803-809, 2009.
- 八尾武憲: デバイスの大きさを考慮していますか?: 本体サイズの重要性. **New Heartopics**. 2: 1-4, 2009.
- 中川晋一, 八尾武憲: 虚血性心疾患に対するライフログの可能性. **情報処理** 7. 50(7): 633-636, 2009.
- 西尾由貴子, 堀江 稔: QT 延長の潜在的危険性の予知: 遺伝子多型: KCNE1-D85N. **循環器専門医**. 17(2): 237-242, 2009.
- 荒船龍彦, 佐久間一郎, 柴田仁太郎, 芦原貴司, 中沢一雄, 本莊晴朗, 神谷香一郎, 児玉逸雄: 光学計測を用いた低温除細動における仮想電極誘発興奮伝播現象の解析. **生体医工学**. 47: 514-521, 2009.
- 鈴木慎悟, 芦原貴司, 原口 亮, 津元国親, 村上慎吾, 倉智嘉久, 中沢一雄: クレフト電位仮説に基づいた貫壁性心室較差の再現. **信学技報**. 108(479): 83-88, 2009.
- 本莊清明, 山崎正俊, 石黒有子, 神谷香一郎, 佐久間一郎, 芦原貴司, 堀江 稔, 児玉逸雄: Optical mapping による spiral wave の解析. **心電図**. 29(3): 231-235, 2009.

【2008】

- 堀江 稔, 奥村 謙: 不整脈予防における ARB, ACE 阻害薬とアルドステロン拮抗薬. **心電図**. 28(1): 5, 2008.
- 堀江 稔: Editorial: 特集にあたって. **臨床研修プラクティス**. 5(9): 5, 2008.
- 堀江 稔: LIFE 研究の重要なサブ解析: Cornell 積と心不全入院リスク. **The Mainichi Medical Journal**. 4(3): 193, 2008.
- 堀江 稔: QT 延長症候群の関連遺伝子をわが国で初めて同定. **Medical Tribune: Circulation Today**. 87, 2008.
- 堀江 稔: これだけはやっておきたい診察と検査. **臨床研修プラクティス**. 5(9): 6-12, 2008.
- 堀江 稔: シンポジウム 5: 突発性心室細動の病態と治療の新展開. **第 72 回日本循環器学会総会・学術集会ニュースフラッシュ No. 2**, 2008.
- 堀江 稔: ニュースレター: 第 26 回日本心電学会学術集会・第 24 回日本不整脈学会学術大会合同学術集会. **J Arrhythm**. 24: 1, 2008.

- 堀江 稔：企画にあたって. *Heart View*. 12: 1028-1029, 2008.
- 堀江 稔：座談会：心房細動の薬物治療：Classic and Innovative. *分子心血管病*. 10(9): 431-439, 2008.
- 堀江 稔：循環器疾患の遺伝子学. *最新医学*. 63: 1814-1826, 2008.
- 堀江 稔：心電学マイルストーン. *心電図*. 28(1): 80, 2008.
- 堀江 稔：心房細動は遺伝するのか？ *成人病と生活習慣病*. 38(10): 1180-1182, 2008.
- 堀江 稔：第 13 回日本心電学会学術奨励賞総評. *心電図*. 28(6): 606, 2008.
- 堀江 稔：第 72 回日本循環器学会・学術集会緊急レポート：New findings of mechanism and therapeutic strategies of idiopathic ventricular fibrillation. *医学のあゆみ*. 225(4): 328-329, 2008.
- 堀江 稔：動悸がする. *臨床研修プラクティス*. 5(6): 33-38, 2008.
- 堀江 稔：不整脈の遺伝子診断の歴史と変遷. *心臓*. 40(12): 1055-1059, 2008.
- 伊藤 誠，稲垣菊代，芦原貴司，中澤優子，城日加里，伊藤英樹，八尾武憲，杉本喜久，坂口知子，岡 優子，堀江 稔：家庭用心電計による不整脈の検出：非電送携帯型心電計による検討. *心電図*. 28(1): 21-22, 2008.
- 伊藤 誠：循環器疾患の遺伝子学. *臨床遺伝子学 2008*. 63: 1814-1826, 2008.
- 伊藤 誠：植込み型除細動器・ペースメーカーによる致死性不整脈の治療. *Heart View*. 12(9): 106-109, 2008.
- 伊藤 誠：心房細動の治療. *滋賀医大ニュース TOPICS*. 47, 2008.
- 薦本尚慶，堀江 稔：採血でどこまでわかるか. *からだの科学*. 258: 48-54, 2008.
- 薦本尚慶，堀江 稔：心不全のバイオマーカー：心腎相関. *医学のあゆみ*. 224(5): 318-325, 2008.
- 薦本尚慶，林 優，田中俊成，西山敬三，山本 孝，山路正之，藤井応理，伊藤 誠，堀江 稔：アルドステロン拮抗薬と心室リモデリング. *心電図*. 28(1): 22-31, 2008.
- 松本鉄也，中野恭幸，堀江 稔：全身疾患としての COPD: 心血管疾患. *日本胸部臨床*. 67(12): 1000-1009, 2008.
- 松本鉄也，堀江 稔：冠動脈疾患における凝固・線溶系と RAS. *Angiotensin Research*. 5(2): 8-12, 2008.
- 松本鉄也，堀江 稔：胸痛症候群の鑑別診断. *心臓*. 40(7): 596-599, 2008.
- 環 慎二. 高血圧緊急症の診断と治療の実際. *臨床研修プラクティス*. 5(9): 13-17, 2008.
- 中江一郎，松尾信郎，松本鉄也，三ツ浪健一，堀江 稔：定量的心拍同期心筋 SPECT を用いた心疾患患者の新機能評価：心機能と baPWV との関連の検討. *Arterial Stiffness*. 14: 106-107, 2008.
- 芦原貴司，中澤優子，稲垣菊代，八尾武憲，城日加里，伊藤英樹，杉本喜久，伊藤 誠，堀江 稔，枅野みどり，金光陽子，楠本和也，山本則仁，澤田方己：肺静脈隔

離術後患者の心房細動再発の検出における携帯型心電計の有用性. *心電図*. 28(1): 77, 2008.

- 芦原貴司, 八尾武憲, 原口 亮, 中沢一雄, 藤堂貴弘, 難波経豊, 池田隆徳, 伊藤 誠, 堀江 稔: ヒト慢性心房細動に対するマルチチャネル遮断薬の効果に関する in silico 研究. *生体医工学*. 46: 224-225, 2008.
- 芦原貴司, 八尾武憲, 中澤優子, 城日加里, 伊藤英樹, 杉本喜久, 伊藤 誠, 堀江 稔, 原口 亮, 中沢一雄, 難波経豊, 池田隆徳: 心房筋リモデリングを考慮したヒト心房細動 in silico モデルにおけるアミオダロンの短期作用と長期作用. *Progress in Medicine*. 28(Suppl.1): 562-567, 2008.
- 芦原貴司: Editorial Comment: 携帯型心電計のさらなる普及へ向けて. *心電図*. 28(3): 233-234, 2008.
- 芦原貴司: 心不全管理の重要性を知る. *内科*. 102(6): 452-458, 2008.
- 芦原貴司: 臨床応用を見据えた心臓不整脈のシミュレーション. *Medical Imaging Technology*. 26(2): 93-98, 2008.
- 伊藤英樹, 岡 優子, 堀江 稔: 薬剤性 QT 延長症候群の遺伝子異常と分子病態. *循環器専門医*. 16(2): 227, 2008.
- 伊藤英樹, 宮本 証, 牧山 武, 赤尾昌治, 堀江 稔: QT 延長症候群の遺伝子変異. *Heart View*. 12(9): 84-88, 2008.
- 中澤優子, 伊藤 誠, 堀江 稔: 心房細動のアップストリーム治療: RA 系以外の作用薬 (スタチン, 抗酸化ビタミンなど). *分子心血管病: 別冊*. 9(5): 481-487, 2008.
- 八尾武憲: 心房細動患者の約 30% に高血圧症を合併する. *臨床研修プラクティス*. 5(9): 54-57, 2008.
- 大野聖子, 堀江 稔: QT 延長症候群の治療. *JIM*. 18: 764-767, 2008.
- 原口 亮, 芦原貴司, 藤堂貴弘, 難波経豊, 村上慎吾, 倉智嘉久, 中沢一雄: 3次元心室壁モデルにおけるスパイラルリエントリーの in silico フィラメント動態解析: 致死的不整脈防御機構としての心室較差の電気生理学的意義. *生体医工学*. 46(6): 660-666, 2008.
- 原口 亮, 芦原貴司, 八尾武憲, 藤堂貴弘, 難波経豊, 村上慎吾, 倉智嘉久, 中沢一雄: 頻脈性不整脈の興奮伝播ダイナミクスにおける心室較差の役割. *生体医工学*. 46: 480-481, 2008.
- 戸田 直, 芦原貴司, 渡辺 淳, 白土邦男, 池田隆徳, 中沢一雄: コンピュータシミュレーションを用いた心室細動の critical mass 仮説の解析. *心電図*. 28(4): 263-272, 2008.
- 後藤 萌, 山口喬弘, 佐久間一郎, 荒船龍彦, 柴田仁太郎, 芦原貴司, 本荘晴朗, 神谷香一郎, 児玉逸雄: 光学計測を用いた仮想電極分極現象誘発 Spiral Reentry の解析. *生体医工学*. 46: 349, 2008.

- 荒船龍彦, 山口喬弘, 佐久間一郎, 柴田仁太郎, 芦原貴司, 中沢一雄, 本莊晴朗, 神谷香一郎, 児玉逸雄: 光学マッピングを用いた冷却心筋における通電刺激誘発仮想電極分極現象の解析. *生体医工学*. 46: 280-281, 2008.
- 藤堂貴弘, 原口 亮, 難波経豊, 八尾武憲, 芦原貴司, 東 将浩, 稲田 紘, 倉智嘉久, 中沢一雄: フィラメントの挙動から見たスパイラルリエントリーの持続性の判定に関する研究. *生体医工学*. 46: 485-486, 2008.

【2007】

- 堀江 稔: Jervell and Lange-Nielsen 症候群. *日本臨床: 別冊*. 4: 205-208, 2007.
- 堀江 稔: RAS が電気生理学的特性と線維化に与える影響. *心房細動*. 98-105, 2007.
- 堀江 稔: Romano-Ward 症候群. *日本臨床: 別冊*. 4: 230-233, 2007.
- 堀江 稔: 家族性心房細動を識る. *Heart View*. 11: 84-86, 2007.
- 堀江 稔: 心房リモデリングの予防と改善は可能か. *日本内科学会雑誌*. 96(9): 109-111, 2007.
- 堀江 稔: 先天性 QT 延長症候群. *Long QT Syndrome*. 1-6, 2007.
- 堀江 稔: 不整脈研究の最新動向. *医学の歩み: 別冊* (編集), 2007.
- 堀江 稔: 薬剤性 QT 延長症候群. *Long QT Syndrome*. 1-6, 2007.
- 薦本尚慶, 田中俊成, 西山敬三, 酒井 宏, 山本 孝, 藤井応理, 堀江 稔: バイオマーカーとしてのナトリウム利尿ペプチド (BNP, N 端-proBNP) と腎機能. *最新医学*. 62(9): 141(1967) -147(1973), 2007.
- 薦本尚慶, 堀江 稔: ANP, BNP をどう使い, どう活かすか. *Heart View*. 9(11): 124-129, 2007.
- 薦本尚慶, 堀江 稔: BNP 濃度測定の意義: 重症度, 病態把握, 治療効果判定. *日本臨床*. 65(4): 417-425, 2007.
- 薦本尚慶, 堀江 稔: 慢性心不全の検査. *クリニカルプラクティス*. 26(1): 16-23, 2007.
- 薦本尚慶: 最新の臨床研究から循環器バイオマーカーとしての NT-proBNP の位置付けを考える. *Medical Tribune*. 40: 60-61, 2007.
- 松本鉄也, 藤田正俊, 樽谷康弘, 山根哲信, 高島弘行, 中江一郎, 堀江 稔: 全身の周期的加速運動の血管内皮機能に対する効果. *心臓*. 39(11): 986-990, 2007.
- Tamaki S, Nakamura Y, Yoshino T, Matsumoto Y, Takayama T, Tarutani Y, Okabayashi T, Kawashima T, Horie M: Change of medication to candesartan from valsartan is effective for patients with morning hypertension (ATOM-Convert C Study)—Candesartan is effective for morning hypertensive patients—. *薬理と治療* 35(4): 373-377, 2007.
- 環 慎二, 寺村真範, 酒井 宏, 高山智行, 岡林旅人, 川嶋剛史, 堀江 稔: 高血圧患者における早朝高血圧とメタボリックシンドロームとの関連. *公立甲賀病院紀*

要. 10: 1-5, 2007.

- 中江一郎, 松尾信郎, 松本鉄也, 堀江 稔: 高血圧患者における橈骨動脈脈波 Augmentation Index 測定の意義. *Therapeutic Res.* 28(9): 1785-1787, 2007.
- 松尾信郎, 中江一郎, 高島弘行, 堀江 稔: マルチスライス CT による非侵襲的冠動脈プラークの評価. *循環器科*. 62(4): 393-399, 2007.
- 芦原貴司, 中澤優子, 八尾武憲, 城日加里, 伊藤英樹, 杉本喜久, 伊藤 誠, 堀江 稔: 肺静脈隔離術後における心房細動再発と自覚症状: 携帯型心電計による検討. *心電図*. 27(4): 307-316, 2007.
- 芦原貴司, 八尾武憲, 伊藤 誠, 堀江 稔, 難波経豊, 原口 亮, 中沢一雄, 池田隆徳: Microvolt T Wave Alternans が反映する心室性不整脈発生基質: コンピュータシミュレーションによる基礎的検討. *心臓*. 39(Suppl.1): 14-19, 2007.
- 芦原貴司: 心電図所見の記載のポイント. *レジデントノート*. 9(3): 392-398, 2007.
- 芦原貴司: 不整脈研究の最先端: 生体シミュレーションの不整脈研究への応用. *医学のあゆみ: 再刊*. 25-30, 2007.
- 芦原貴司: 不整脈治療の種類とそれぞれの意義について. *臨床看護*. 33(8): 1192-1199, 2007.
- 伊藤英樹, 牧山 武, 辻 啓子, 坂口知子, 長岡伊織, 岡 優子, 芦原貴司, 伊藤 誠, 大野聖子, 赤尾昌治, 堀江 稔: チャネル病の修飾因子: 総論. *心臓*. 39: 576-579, 2007.
- 中澤優子, 芦原貴司, 稲垣菊代, 八尾武憲, 城日加里, 伊藤英樹, 杉本喜久, 伊藤 誠, 堀江 稔: 肺静脈隔離術後患者における心房細動の早期再発パターンと自覚症状: イベント心電図による検討. *心電図*. 27(6): 657-659, 2007.
- 坂口知子, 堀江 稔: QT 延長症候群 (先天性, 後天性). *臨床検査*. 51(7): 764-768, 2007.
- 三羽邦久, 三ツ浪健一, 吉田 章, 中江 出, 松本鉄也, 神田 宏, 猪飼亜希子, 藤田正俊: スタチンの横紋筋に及ぼす影響の薬剤による差異. *診療と新薬*. 44(9): 1046-1050, 2007.
- 松浦 博, Zankov DP, 尾松万里子, 磯野高敬, 豊田 太, 丁 維光, 堀江 稔: 心房筋細胞における AT1 受容体を介した緩徐活性型遅延整流性 K⁺電流(IKs)の増大と活動電位の短縮: 心房細動治療における AT1 受容体遮断薬の有効性との関連. *心電図*. 27(2): 145-153, 2007.
- 鷹野 誠, 倉富 忍, 堀江 稔, 斉藤能彦, 桑原宏一郎: 心臓イオンチャネル遺伝子の転写制御機構: エピジェネティックスと機能分化. *心電図*. 27(Suppl.3): 15-28, 2007.
- 中沢一雄, 原口 亮, 内藤博昭, 清水 渉, 東 将浩, 芦原貴司, 難波経豊, 八尾武憲, 池田隆徳: スーパーコンピュータ上の仮想心臓モデルによる心室細動発生機

構の検討. *心電図*. 27(2): 129-139, 2007.

- 藤堂貴弘, 原口 亮, 難波経豊, 八尾武憲, 芦原貴司, 東 将浩, 稲田 紘, 中沢一雄: フィラメントの挙動に基づくスパイラルリエントリの持続および消滅の判定についての検討. *信学技報*. 107(409): 13-16, 2007.
- 難波経豊, 藤堂貴弘, 八尾武憲, 芦原貴司, 原口 亮, 中沢一雄, 池田隆徳, 大江透: 右室心外膜の局所遅延伝導が心電図の右側胸部誘導に及ぼす影響: シミュレーションによる検討. *心臓*. 39(Suppl.1): 57-61, 2007.
- 牧山 武, 赤尾昌治, 伊藤英樹, 堀江 稔: Brugada 症候群と遺伝子病: Brugada 症候群と QT 延長症候群など他の遺伝子病との関連について. *Heart View*. 11(2): 54-61, 2007.

【2006】

- 堀江 稔, 伊藤英樹: 遺伝性不整脈のゲノム解析. *医学のあゆみ*. 218(14): 1361-1365, 2006.
- 堀江 稔: Brugada 症候群. *Heart View*. 10(5): 568-573, 2006.
- 堀江 稔: Brugada 症候群: 基礎と臨床. *BIO Clinica*. 21(8): 736-742, 2006.
- 堀江 稔: QT 延長・短縮症候群. *臨床と研究*. 83(4): 603-605, 2006. 第 57 回福岡不整脈同好会(2005.10.22 福岡).
- 堀江 稔: 遺伝子異常が疑われるとき. *Medical Practice*. 23(5): 823-824, 2006.
- 堀江 稔: 遺伝性不整脈疾患: その診断と治療. *Cefiro*. 3: 75-78, 2006.
- 堀江 稔: 心房細動を巡る最近の話題. *大津市医師会誌*. 9(3): 110-114, 2006. イブニングセミナー(2006.01.14 大津).
- 堀江 稔: 先天性・後天性 QT 延長症候群 up-to-date. *Mebio*. 23(8): 116-126, 2006.
- 堀江 稔: 不整脈における遺伝子診断・診療. *循環器科*. 60(3): 229-234, 2006.
- 堀江 稔: 不整脈の診断と治療: 最近のトピックス. *日本内科学会雑誌*. 95(3): 520-523, 2006.
- 堀江 稔: 不整脈研究の最新動向. *医学のあゆみ*. 217(6): 599, 2006.
- 堀江 稔: 不整脈診断と治療: 最近のトピックス. *日本内科学会雑誌*. 95(3): 108-111, 2006.
- 堀江 稔: 薬剤性 QT 延長症候群における遺伝子背景. *心臓*. 38: 16-20, 2006.
- 伊藤 誠, 小澤友哉, 芦原貴司, 八尾武憲, 堀江 稔, 杉本喜久, 八木崇文: 三尖弁輪と His 束部直近との 2 カ所の起源を有し頻拍時に心房波に先行する Prepotential を認めた ATP 感受性心房頻拍の 1 例. *臨床心臓電気生理*. 29: 115-123, 2006.
- 伊藤 誠: ICD 治療の現状. *Modern Physician*. 26(10): 1625-1631, 2006.
- 伊藤 誠: 心室頻拍・心室細動・心臓突然死に対するデバイス治療. *医学のあゆみ*. 217(6): 732-740, 2006.

- 葛本尚慶, 佐藤幸人: 心不全の診断: 生化学マーカーを利用する. *Medical Tribune*. 6(22): 80-82, 2006.
- 葛本尚慶, 石川千登世, 酒井 宏, 田中俊成, 藤井応理, 堀江 稔: 重症心不全の治療の進歩: ナトリウム利尿ペプチドを用いた診断と治療. *ICU と CCU*. 30(10): 669-677, 2006.
- 葛本尚慶, 堀江 稔: ANP ファミリーの新しい展開: ANP ファミリー測定の臨床的意義. *Heart View*. 10: 416-423, 2006.
- 葛本尚慶, 堀江 稔: CRT: 心不全治療に活かす: 左室機能改善の機序. *Heart View*. 10(9): 50-55, 2006.
- 葛本尚慶, 堀江 稔: 検査値から診る: BNP の血中濃度測定. *循環 plus. Medical Tribune*. 6(10): 10-12, 2006.
- 葛本尚慶, 堀江 稔: 慢性心不全の生化学診断. *Cardiac Practice*. 17(2): 143-150, 2006.
- 葛本尚慶, 林 優, 堀江 稔: 心臓とアルドステロン. *総合臨床*. 55(6): 1725-1727, 2006.
- 葛本尚慶, 林 優, 堀江 稔: 新薬の評価: カンデサルタン・シレキセチル. *クリニカルプラクティス*. 25: 143-144, 2006.
- 葛本尚慶: Carvedilol と β 1 選択性遮断薬の比較. *Cardiology Frontier*. 5: 18-20, 2006.
- 葛本尚慶: 高血圧患者における T-CCB のアルドステロンに対する作用. *Medical Tribune*. 7(27): 63-66, 2006.
- 葛本尚慶: 慢性心不全 (CHF) の治療: 座談会: レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系の抑制. *日経メディカル*. 6: 87-90, 2006.
- 環 慎二, 吉野知秀, 松本祐一, 樽谷康広, 岡林旅人, 川嶋剛史, 堀江 稔: JSH2004 発表後の早朝高血圧の現状. *公立甲賀病院紀要*. 9: 19-24, 2006.
- 環 慎二, 中村保幸, 堀江 稔, 木之下正彦, 岩井直温: α -adducin 遺伝子. *日本臨床増刊号: 高血圧第3版(上): V 研究動向*. 348-352, 2006.
- 松尾信郎, 堀江 稔: 高脂血症患者におけるスタチン治療による動脈硬化度への効果: 滋賀プラバスタチン動脈硬化研究. *Arterial Stiffness*. 9: 64-65, 2006.
- 芦原貴司, 難波経豊, 中沢一雄: Point of View: 細胞外刺激による心筋反応のバインドメインモデルシミュレーション—ペーシング刺激から電氣的除細動まで. *心電図*. 26: 175-182, 2006.
- 芦原貴司: 生体シミュレーションの不整脈研究への応用. *医学のあゆみ*. 217(6): 623-628, 2006.
- 伊藤英樹, 坂口知子, 辻 啓子, 岡 優子, 中澤優子, 八尾武憲, 城日加里, 長岡伊織, 芦原貴司, 伊藤 誠, 堀江 稔: 心筋 Na チャネルの抗不整脈薬結合関連部位に遺伝子変異を認めた Brugada 症候群の薬剤負荷試験と抗不整脈治療. *心臓*.

38(9): 979-980, 2006.

- 伊藤英樹, 堀江 稔: 不整脈と原因遺伝子. *日本内科学会雑誌*. 95: 11-16, 2006.
- 原口 亮, 五十嵐健夫, 大和田茂, 八尾武憲, 難波経豊, 芦原貴司, 藤堂貴弘, 池田隆徳, 中沢一雄: 患者個別の特性を反映させた致死性不整脈発生危険予測シミュレーションのための技術開発. *医療情報学連合大会論文集*. 26(Suppl): 635-636, 2006.
- 蒔田直昌, 渡辺一郎, 住友直方, 野上昭彦, 清水 渉, 川村祐一郎, 堀江 稔, 筒井裕之: Brugada 症候群とその類縁疾患における遺伝子異常. *心電図*. 26(Suppl.4): 5-9, 2006.
- 松井圭司, 長岡伊織, 堀江 稔: 熱変性高速液体クロマトグラフィ法を用いたリアノジン受容体遺伝子変異のスクリーニング. *心臓*. 38(5): 533-535, 2006.
- 藤井応理, 葛本尚慶, 堀江 稔: 循環器薬の使い方—急性心不全. *medicina*. 43(9): 1460-1466, 2006.
- 藤堂貴弘, 原口 亮, 八尾武憲, 難波経豊, 芦原貴司, 永田 啓, 東 将浩, 稲田 紘, 中沢一雄: コンピュータシミュレーションによる不整脈発生危険予測システムの開発の試み. *信学技報*. 106(330): 5-8, 2006.
- 難波経豊, 八尾武憲, 芦原貴司, 原口 亮, 中沢一雄, 大江 透, 池田隆徳: 心房細動の興奮伝播に対するアミオダロンの急性効果: 電極マッピングからランダムリエントリーを自動で可視化するアルゴリズムの開発も含めて. *基礎・治療*. 26(Suppl.1): 1409-1413, 2006.
- 陸 建銀, 西 俊文, 芦原貴司, シュナイダーナタリー, 天野 晃, 松田哲也, 小寺秀俊, 野間昭典: 心室筋興奮到達時間の組織収縮力への影響: シミュレーションによる解析. *生体医工学*. 44(1): 170-176, 2006.

【2005】

- 堀江 稔: Bidirectional VT. *Medical Practice*. 22(3): 504, 2005.
- 堀江 稔: torsades de pointes の病態. *日本醫事新報*. 4247: 122-123, 2005.
- 堀江 稔: イオンチャネルと循環器疾患. *心臓*. 37(1): 83-86, 2005.
- 堀江 稔: イオンチャネル病と心臓突然死. *循環器科*. 58(5): 466-471, 2005.
- 堀江 稔: 遺伝子多型. *カレントセラピー*. 23(3): 88-89, 2005.
- 堀江 稔: 遺伝性 QT 延長・短縮症候群. *最新医学*. 60(10): 38-44, 2005.
- 堀江 稔: 心房細動と遺伝子異常. *循環器科*. 58(1): 51-54, 2005.
- 堀江 稔: 心房細動治療の組み立て: Upstream approach と downstream approach. *Heart View*. 9(4): 445-447, 2005.
- 堀江 稔: 不整脈の背景: イオンチャネルと活動電位. *Heart View*. 9(12): 12-18, 2005.
- 伊藤 誠: Brugada 症候群の管理. *滋賀県医師会報*. 4: 25-32, 2005.
- 伊藤 誠: 基礎疾患と不整脈との関連性. *medicina*. 42(4): 572-575, 2005.

- 葛本尚慶, 堀江 稔: 心不全治療における BNP 測定の役割. *循環器科*. 57: 230-238, 2005.
- 葛本尚慶, 堀江 稔: 心不全診断に必要な検査: 神経体液性因子測定の意義. *Heart View*. 9: 34-40, 2005.
- 葛本尚慶, 堀江 稔: 体液因子による心不全の評価. *日本内科学会雑誌*. 94: 221-227, 2005.
- 葛本尚慶, 堀江 稔: 内科医に必要な栄養管理の知識: 心不全. *診断と治療*. 93: 1783-1787, 2005.
- 葛本尚慶, 林 優, 堀江 稔: アルドステロンと心不全. *呼吸と循環*. 53: 1241-1249, 2005.
- 葛本尚慶: ARB の慢性心不全治療に与えるインパクト. *日経メディカル*. 11: 199-202, 2005.
- 葛本尚慶: 抗アルドステロン薬の有用. *EBM REPORT Heart Failure*. 8: 11-13, 2005.
- 葛本尚慶: 心不全を伴う高血圧患者をどうするか. *循環 plus*. 5: 6-8, 2005.
- 環 慎二, 川嶋剛史, 柿木里枝, 吉野知秀, 松本祐一, 樽谷康広, 岡林旅人, 坂部秀明, 堀江 稔: 早朝高血圧の患者でカンデサルタンに変薬することの有効性の検討: ATOM 研究より. *公立甲賀病院紀要*. 8: 13-19, 2005.
- 高島弘行: 薬剤溶出性ステントと心臓カテーテルの適応. *滋賀県医師会報*. 9: 25-27, 2005.
- 藤井応理, 葛本尚慶, 堀江 稔: 各種疾患における HOT の適応と臨床効果: 慢性心不全における中枢性睡眠時無呼吸症候群 (Cheyne-stokes 呼吸) と在宅酸素療法. *日本胸部臨床*. 64(11): S72-S77, 2005.
- 松尾信郎, 松本鉄也, 高島弘行, 山根哲信, 樽谷康弘, 堀江 稔: 血管内皮機能と高血圧: 冠動脈および上腕動脈の検討. *Therapeutic Res*. 26(7): 1487-1491, 2005.
- 松尾信郎, 堀江 稔: マルチスライス CT による心臓イメージングの現状. *放射線技術学会誌*. 61(9): 1351-1359, 2005.
- 松尾信郎, 堀江 稔: 循環器内科医から見たマルチスライス CT の有用性: マルチスライス CT による心臓イメージングの現状. *Digital Medicine*. 5(4): 34-38, 2005.
- 芦原貴司, 伊藤 誠, 堀江 稔: 内科診療最前線 2006: この 1 年の動向を踏まえて: 不整脈. *内科*. 96(6): 989-998, 2005.
- 芦原貴司, 池田隆徳: 心房細動発生の視覚化: シミュレーションで判ったこと. *総合臨床*. 54(8): 2155-2163, 2005.
- 芦原貴司, 八尾武憲, 小澤友哉, 伊藤 誠, 堀江 稔: In silico cardiology. *心臓*. 37(6): 502-509, 2005.
- 芦原貴司, 野間昭典: 心電学におけるコンピュータシミュレーションの現状と将来. *心電図*. 25(3): 203-204, 2005.

- 芦原貴司：スパイラル・リエントリーと頻拍・細動．*カレントセラピー*. 23(3): 13-19, 2005.
- Zankov D, 堀江 稔, 豊田 太, 林 維光, 松浦 博：モルモット心筋細胞 IKs チャネル開口時におけるアミオダロンの急性効果．*Progress in Medicine*. 25(Suppl.1): 1468-1471, 2005.
- 原口 亮, 五十嵐健夫, 大和田茂, 八尾武憲, 難波経豊, 芦原貴司, 池田隆徳, 杉本喜久, 永田 啓, 中沢一雄：スケッチ風モデリングインタフェースを備えた心臓不整脈シミュレータ．*医療情報学連合大会論文集*. 25(Suppl.): 704-705, 2005.
- 小堀敦志, 堀江 稔：Andersen 症候群から学ぶ U 波の成因．*心臓*. 37(6): 536-542, 2005.
- 松岡 達, 皿井信明, 城日加里, 野間昭典：活動電位のシミュレーション (Kyoto model)．*心臓*. 37(6): 486-493, 2006.
- 松本鉄也, 堀江 稔：国内ラボ紹介：世界をリードする医療人の育成をめざして：滋賀医科大学呼吸循環器内科教室．*分子心血管病*. 6(3): 98(316)-103(321), 2005.
- 松本鉄也：用語解説：組織型プラスミノーゲンアクチベーター．*循環器専門医*. 13(2): 263, 2005.
- 相澤義房, 井上 博, 大江 透, 小川 聡, 奥村 謙, 笹貫 宏, 加藤貴雄, 鎌倉史郎, 古賀義則, 原田研介, 堀江 稔, 松崎益徳, 三崎拓郎, 三田村秀雄, 山口 巖, 吉永正夫, 池田隆徳, 伊藤 誠, 江森哲朗, 久賀圭介, 児玉逸雄, 佐々木真吾, 清水昭彦, 清水 渉, 住友直方, 高月誠司, 池主雅臣, 新田 隆, 庭野慎一, 野原隆司, 藤木 明, 松田直樹, 宮本哲也, 村川裕二, 鷲塚 隆, 杉本恒明, 中澤 誠, 堀 正二, 山口 徹：心臓突然死の余地と予防法のガイドライン．*Circ J*. 69(Suppl.IV): 1209-1265, 2005.
- 中沢一雄, 原口 亮, 八尾武憲, 永田 啓, 杉本喜久, 芦原貴司, 高田雅弘, 並川寛和, 岡田靖士, 吉本幸平, 古屋直美, 仙田修司, 植松義之, 五十嵐健夫：手書き文字の高度な認識・検索機能を備えた電子カルテのペン入力インタフェース．*医療情報学*. 25(2): 81-86, 2005.
- 難波経豊, 八尾武憲, 原口 亮, 池田隆徳, 中沢一雄, 大江 透：心臓不整脈のコンピュータシミュレーション．*心臓*. 37(6): 494-501, 2005.
- 八尾武憲, 難波経豊, 芦原貴司, 原口 亮, 中沢一雄, 池田隆徳：多電極マッピング可視化アルゴリズムの開発による心臓不整脈現象の解析：迅速かつ高い客観性で心筋の興奮伝播を自動的に描出する．*信学技報*. 104(644): 5-8, 2005.

【2004】

- 堀江 稔：薬剤による心電図変化：遺伝子異常の関与．*心電図*. 24(Suppl.1): 64-68, 2004.
- 堀江 稔：QT 延長症候群の原因遺伝子と治療の選択．*Medical Practice*. 21(9):

1500-1501, 2004.

- 堀江 稔：遺伝子異常による致死性不整脈の成因. *Therapeutic Res.* 25(1): 3-37, 2004.
- 堀江 稔：遺伝性不整脈と心臓突然死. *循環器科*. 55(4): 305-307, 2004.
- 堀江 稔：心臓突然死予防への新しい strategy：先天性・後天性 QT 延長症候群. *心臓*. 36(3): 183-189, 2004.
- 堀江 稔：心房細動の病態と治療. *大津市医師会誌*. 27(310): 12-18, 2004.
- 堀江 稔：不整脈をめぐる最近のトピックス：第 21 回滋賀医学会総会 (2004.10.19 大津). *滋賀医学*. 26: 1-6, 2004.
- 伊藤 誠：内科系のクリニカルパス：カテーテルアブレーション. *Heart nursing : 2004 年秋季増刊*. 227: 154-163, 2004.
- Tsutamoto T: Mineralocorticoid receptor antagonist spironolactone improves left ventricular remodeling in patients with congestive heart failure and acute myocardial infarction. *Nippon Yakurigaku Zasshi*. 124: 90-100, 2004.
- 薦本尚慶, 堀江 稔：BNP をどのように利用するか. *medicina*. 41(11): 1832-1835, 2004.
- 薦本尚慶, 堀江 稔：BNP 測定における心不全患者の管理. *呼吸と循環*. 52(2): 185-189, 2004.
- 薦本尚慶, 堀江 稔：Brain Natriuretic Peptide. *臨床病理*. 52: 655-668, 2004.
- 薦本尚慶, 堀江 稔：エプレレノン. *Cardiovascular Med Surg*. 16(4): 83-89, 2004.
- 薦本尚慶, 林 優, 石川千登世, 前田圭子, 酒井 宏, 大野慶人, 和田厚幸, 堀江 稔：抗アルドステロン薬の有用性. *循環制御*. 25(1): 10-17, 2004.
- 薦本尚慶：HANP の心筋保護作用. *循環器科*. 55(1): 94, 2004.
- 薦本尚慶：アルドステロンと心室リモデリング. *日薬理誌*. 124: 90-100, 2004.
- 薦本尚慶：心不全と神経体液性因子. *心臓*. 36(1): 56-60, 2004.
- 松本鉄也, 高島弘行, 大平直人, 山根哲信, 安田 洋, 樽谷康弘, 松尾信郎, 堀江 稔：高血圧患者におけるアンジオテンシン変換酵素阻害薬とアンジオテンシン-受容体拮抗薬の冠血管内皮機能改善作用. *Therapeutic Res.* 25(8): 1634-1638, 2004.
- 和田厚幸, 堀江 稔：心電図でみる胸痛 (不整脈を含む). *臨床研究プラクティス*. 1(6): 22-30, 2004.
- 環 慎二, 大西正人, 森本 聡, 堀江 稔：本態性高血圧症患者における早朝, 外来, 夜間血圧調査：ATOM 研究. *薬理と治療*. 32(8): 481-486, 2004.
- 環 慎二, 大平直人, 岡林旅人, 川嶋剛史, 堀江 稔, 中村保幸：HOMA 指数より求めたインスリン抵抗性と冠動脈の重症度との関連. *公立甲賀病院紀要*. 7: 23-28, 2004.
- 環 慎二, 中村保幸, 堀江 稔, 木之下正彦, 岩井直温： α -adducin 遺伝子. *日本*

臨床. 62(3): 108-111, 2004.

- 原口 亮, 五十嵐健夫, 大和田茂, 八尾武憲, 難波経豊, 芦原貴司, 池田隆徳, 杉本喜久, 永田 啓, 中沢一雄: スケマティックな3次元形状モデリングインタフェースを備えた心臓電気生理現象シミュレータ. **信学技報.** 104(179): 17-20, 2004.
- 原口 亮, 五十嵐健夫, 大和田茂, 八尾武憲, 難波経豊, 芦原貴司, 池田隆徳, 杉本喜久, 永田 啓, 中沢一雄: 治療戦略決定や患者説明への応用を目指した心臓不整脈病態シミュレーション環境の開発. **医療情報学.** 24(Suppl): 818-819, 2004.
- 小堀敦志, 堀江 稔: チャネル病の遺伝子異常. **Heart View.** 8(1): 74-78, 2004.
- 竹中琴重, 小堀敦志, 二宮智紀, 牧山 武, 大野聖子, 堀江 稔: 一般診療でのQT延長の診断と治療方針. **臨床医学.** 30(1): 92-97, 2004.
- 中沢一雄, 原口 亮, 芦原貴司, 八尾武憲, 難波経豊, 池田隆徳, 鈴木 亨, 稲垣正司, 杉町 勝, 五十嵐健夫: Virtual Heart: スーパーコンピュータでつくった仮想心臓: 心臓電気現象の包括的シミュレータ. **循環器病研究の進歩.** 25(1): 60-70, 2004.
- 中沢一雄, 原口 亮, 八尾武憲, 永田 啓, 杉本喜久, 芦原貴司, 高田雅弘, 並川寛和, 岡田靖士, 吉本幸平, 古屋直美, 仙田修司, 植松義之, 五十嵐健夫: 手書き文字の高度な認識・検索機能を備えたペン入力インタフェース. **医療情報学.** 24(Suppl): 542-543, 2004.

【2003】

- 堀江 稔: Brugada 症候群とナトリウム・チャネル遺伝子異常. **心臓.** 35(6): 459-464, 2003.
- 堀江 稔: QT 延長症候群と遺伝子異常. **不整脈2003 Medical Topics Series.** 71-79, 2003.
- 堀江 稔: 循環器疾患における遺伝子解析. **Cardiac Practice.** 14(2): 45-49, 2003.
- 堀江 稔: 不整脈と心筋イオンチャネル QT 延長症候群の分子基盤. **Molecular Medicine.** 40(7): 802-808, 2003.
- 堀江 稔: 薬物誘発性 QT 延長症候群: 遺伝的要因を含めた患者背景. **日薬理誌.** 121: 401-407, 2003.
- 中村保幸, 吉田道明, 喜多義邦, 上島弘嗣, 木之下正彦: 我が国における虚血性心疾患の疫学. **日本臨床.** 61: 719-725, 2003.
- 中村保幸, 木之下正彦: 日本人虚血性心疾患危険因子の経年変遷. **日本臨床.** 61: 726-731, 2003.
- 中村保幸: 硝酸薬大規模臨床治験. **冠疾患誌.** 9: 158-160, 2003.
- 中村保幸: 二次予防のガイドライン. **総合臨床.** 52: 1452-1458, 2003.
- 伊藤 誠: 心房細動の再発における心房サイズおよび電気生理学的特性の関与. **平成 14 年度厚生労働省循環器病研究委託費による研究報告集.** 486, 2003.

- 薦本尚慶, 前田圭子, 馬渕尚子, 筒井崇, 石井千登世, 大野慶人, 藤井応理, 松本武洋, 山本 孝, 高山智行, 和田厚幸, 大西正人, 林 優, 木之下正彦: 心不全の予後予測因子: hANP 投与の影響. *心臓*. 35(1): 62-64, 2003.
- 薦本尚慶, 堀江 稔: 液性因子測定の意義: BNP の意義と限界. *内科*. 91(3): 444-448, 2003.
- 薦本尚慶, 堀江 稔: 抗アルドステロン薬になにを期待するか: 心臓はアルドステロンの標的臓器である. *医学のあゆみ*. 206(10): 741-747, 2003.
- 薦本尚慶, 堀江 稔: 心不全の生化学診断: BNP を中心に. *日本臨床*. 61(5): 782-788, 2003.
- 薦本尚慶, 堀江 稔: 心不全診療の最前線: 心不全の生化学指標. *第 122 回日本医学会シンポジウム記録集*. 46-51, 2003.
- 薦本尚慶: 慢性心不全における心筋酸化ストレスの臨床的意義. *平成 14 年度厚生省循環器病研究報告集*. 7, 2003.
- 薬袋一夫, 松本鉄也, 堀江 元, 横浜 洋, 高島弘行, 大平直人, 高橋正行, 中村保幸, 木之下正彦: ヒトの冠循環におけるブラジキニンの作用. *循環器科*. 53(4): 327-333, 2003.
- 松尾信郎, 中村保幸, 松本鉄也, 中江一郎, 永谷幸裕, 高櫻竜太郎, 高橋雅士, 村田喜代史, 堀江 稔: マルチスライス CT による冠動脈病変評価における有用性の検討. *循環器科*. 54(5): 428-432, 2003.
- 芦原貴司, 中沢一雄: システム生命工学からみた血管病態: 不整脈モデル. *分子心血管病*. 4(5): 493-504, 2003.
- 芦原貴司: 海外研究室便り: 心臓電気生理の新しい形を求めて. *心電図*. 23(6): 647-651, 2003.
- 高山智行, 和田厚幸, 大西正人, 藤井応理, 松本武洋, 山本 孝, 道家智博, 薦本尚慶, 堀江 稔: ピタバスタチンによる心不全の左室拡張能及び血管内皮機能の改善. *Therapeutic Res*. 24(8): 1465-1472, 2003.
- 難波経豊, 八尾武憲, 芦原貴司, 池田隆徳, 中沢一雄: 心臓不整脈におけるコンピュータ・シミュレーション. *シミュレーション*. 22(3): 166-173, 2003.